

センサー

アイコンについて: 対応 非対応 (文字がグレーの箇所は非対応です) 以前の版から更新あり

共通

Hi-Fiセンサー対応 ※	対応
ダイナミックセンサー対応 ※	対応

加速度センサー

値の取得可否 ※	可
未補正値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	5000 μsec
最大遅延時間 ※	1000000 μsec
値の範囲 ※	78.4532
消費電力 ※	0.18 mA
センサー分解能 ※	0.0023928226 m/s^2
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_CONTINUOUS
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャネル ※	–

重力センサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	5000 μsec
最大遅延時間 ※	200000 μsec
値の範囲 ※	156.91
消費電力 ※	0.515 mA
センサー分解能 ※	0.01 m/s^2
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_CONTINUOUS
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャネル ※	–

ジャイロセンサー

値の取得可否 ※	可
未補正値の取得可否 ※	可

最小遅延時間 ※	5000 μ sec
最大遅延時間 ※	1000000 μ sec
値の範囲 ※	17.452778
消費電力 ※	0.9 mA
センサー分解能 ※	0.0005326165 rad/sec
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_CONTINUOUS
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャンネル ※	–

6DoFセンサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	– μ sec
最大遅延時間 ※	– μ sec
値の範囲 ※	–
消費電力 ※	– mA
センサー分解能 ※	– m/s ²
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	–
レポートモード ※	–
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャンネル ※	–

照度計

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	0 μ sec
最大遅延時間 ※	0 μ sec
値の範囲 ※	50000.223
消費電力 ※	0.09 mA
センサー分解能 ※	0.54 lux
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_ON_CHANGE
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャンネル ※	–

地磁気計

値の取得可否 ※	可
未補正值の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	10000 μ sec
最大遅延時間 ※	1000000 μ sec
値の範囲 ※	2200.05
消費電力 ※	2.15 mA
センサー分解能 ※	0.15 μ T
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_CONTINUOUS
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャンネル ※	–

回転ベクトルセンサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	5000 μ sec
最大遅延時間 ※	200000 μ sec
値の範囲 ※	1.0
消費電力 ※	1.415 mA
センサー分解能 ※	0.01 m/s ²
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_CONTINUOUS
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャンネル ※	–

ゲーム用回転ベクトルセンサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	5000 μ sec
最大遅延時間 ※	200000 μ sec
値の範囲 ※	1.0
消費電力 ※	0.515 mA
センサー分解能 ※	0.01 m/s ²
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_CONTINUOUS
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャンネル ※	–

地磁気回転ベクトルセンサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	10000 μ sec
最大遅延時間 ※	200000 μ sec
値の範囲 ※	1.0
消費電力 ※	1.05 mA
センサー分解能 ※	0.01 m/s ²
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_CONTINUOUS
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャンネル ※	–

気圧計

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	– μ sec
最大遅延時間 ※	– μ sec
値の範囲 ※	–
消費電力 ※	– mA
センサー分解能 ※	– hPa
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	–
レポートモード ※	–
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	–
対応するダイレクトチャンネル ※	–

近接センサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	0 μ sec
最大遅延時間 ※	0 μ sec
値の範囲 ※	5.0
消費電力 ※	0.1 mA
センサー分解能 ※	1.0 cm
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_ON_CHANGE
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応

対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	-
対応するダイレクトチャンネル ※	-

温度センサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	- μ sec
最大遅延時間 ※	- μ sec
値の範囲 ※	-
消費電力 ※	- mA
センサー分解能 ※	- °C
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	-
レポートモード ※	-
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	-
対応するダイレクトチャンネル ※	-

ステップカウンター

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	0 μ sec
最大遅延時間 ※	0 μ sec
値の範囲 ※	4294967300
消費電力 ※	0.15 mA
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_ON_CHANGE
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	-
対応するダイレクトチャンネル ※	-

ステップディテクター

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	0 μ sec
最大遅延時間 ※	0 μ sec
値の範囲 ※	1.0
消費電力 ※	0.15 mA
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	10000
レポートモード ※	REPORTING_MODE_SPECIAL_TRIGGER
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応

対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	－
対応するダイレクトチャンネル ※	－

動作検出センサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	－1 μ sec
最大遅延時間 ※	0 μ sec
値の範囲 ※	1.0
消費電力 ※	0.025 mA
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	0
レポートモード ※	REPORTING_MODE_ONE_SHOT
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	－
対応するダイレクトチャンネル ※	－

静止検出センサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	－1 μ sec
最大遅延時間 ※	0 μ sec
値の範囲 ※	1.0
消費電力 ※	0.025 mA
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	0
レポートモード ※	REPORTING_MODE_ONE_SHOT
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応
対応するダイレクトレポートレートの最高レベル ※	－
対応するダイレクトチャンネル ※	－

ヒンジ角度センサー

値の取得可否 ※	可
最小遅延時間 ※	－ μ sec
最大遅延時間 ※	－ μ sec
値の範囲 ※	－
消費電力 ※	－ mA
センサー分解能 ※	－ degree
バッチ処理時に保持可能な最大イベント数 ※	－
レポートモード ※	－
ウェイクアップセンサー対応 ※	対応

対応するダイレクトレポートの最高レベル ※	-
対応するダイレクトチャネル ※	-

※: Android標準APIで取得した値を掲載